

校 園 名：東京学芸大学附属高等学校

所在地：〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5 電話番号：03-3421-5151

記載日：2016年6月14日 記載者：宮城政昭 記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

教育方針

- 1 清純な、気品の高い人間
- 2 大樹のように大きく伸びる自主的な人間
- 3 世界性の豊かな人間



授業 学問の本質を学ぶ

「本物教育」本校の授業のモットーを表す言葉です。実物に触れる機会が多い授業、学問の深みを感じる授業を目指しています。また多くの科目で実物に触れる機会として教科行事を実施しています。

行事 協働の精神を養う

辛夷祭・体育祭・下馬祭の3大行事をはじめとして、行事満載の高校生活です。学校行事では生徒が中心となり、より魅力的な行事になるように協力して運営しています。

部活動 心・技・体を鍛える

本校生徒の9割以上がいずれかの部活に所属しており、部活動が大変盛んです。全国大会や関東大会に出場する部活もあり、限られた時間の中で有意義な部活動を送っています。

SSH 国際的リーダーを育てる

本校は平成24年度から、文部科学省によりスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受け、今まで以上に充実した教育活動を実践しています。知的総合力を持ったリーダー、科学的理解に基づいて行動できる市民の育成を目指しています。

キャリア 世界に、未来に目を向ける

本校におけるキャリア教育は、今後の長い人生を見通した“キャリア”を意識したものです。授業も含め、20年後、30年後に責任を持つ教育を目指しています。そこから、今、目指すべき進路が見えて来ます。

魅力のある、特色のある、先導的な取り組みなどについて：
 <授業>多面的な視野を身につけるための、インタラクティブな授業。

講義・演習

基礎・基本を理解し身につけ、さらにじっくり考え、互いに意見を交わし合うことで、自ら問題点を見出し、主体的に解決する力を養います。また、プレゼンテーション型や討論型などの多様なかたちの授業を通し、表現力や伝達力を身につけます。



英語 講義の様子



国語 グループ学習の様子



現代社会 プレゼンテーション



保健 講義の様子



数学 講義の様子

実験

観察や実験、調査や探究に取り組みます。夏には物理・化学・生物の実験講習があり、大学レベルの高度な実験にも挑戦します。日頃から観察や実験は多く、結果をレポートにまとめることを通し、分析力や文章力を培います。



化学 実験の様子



物理 実験の様子



生物 校内樹木の観察



地学 野外出習課題ポスター

実習・実技

保健体育科での実技のほかにも、家庭科では多数の実習や体験、情報科ではCM作成など、自らの手や体を動かして実践的・体験的に学びます。芸術科では、音楽・美術・工芸・書道の中から1科目を選択します。創作や表現、鑑賞の活動を通し、感性を高め豊かな情操を養います。



情報 講義での発表会の様子



音楽 授業の様子



美術 制作の様子



工芸 制作の様子



書道 制作の様子



家庭科 調理実習

<行事>学校行事、教科行事など、自主性を重んじる活動が満載。

体育祭

(6月)

各学年が赤・青・緑・黄の4チームに分かれて様々な種目で競い合います。真剣に跳んで、走って、跳って、さわやかに汗を流します。



開会式「選手宣誓」

林間学校

(7月)

1年次に本校妙高寮に宿泊し、妙高山登山を中心とした自然体験を通し、体力の限界に挑むとともに、仲間との友情を深めます。



妙高山山頂までもう一息

辛夷祭

(9月)

クラスや部活で娯楽施設や飲食店舗を開いたり、日頃の活動を発表する、楽しく熱い学園祭です。中でも3年生のクラス演劇は辛夷祭の華です。



3年生クラス演劇

学習旅行

(11月)

2年次に広島・長崎・韓国の3コースに分かれて宿泊し、各自で設定したテーマを明らかにするためのフィールドワークを行います。



広島 厳島神社での演習行動

地理実習

(5月)

地理の授業の一環で、旧江戸城周辺を1日かけて散策します。総移動距離16kmの中で、地理や歴史の見方・考え方を身に付けます。



稲田門前でのスケッチの様子

現代劇鑑賞

(11月)

国語の授業の一環で、1年次には現代劇鑑賞、2年次には古典劇鑑賞を実施します。伝統的な言語文化を体感する時間です。



歌舞伎座にて

野外実習

(10月)

地学基礎の授業の一環で、城ヶ島にて地層の観察実習を行います。12月には天文の理解を深めるためにプラネタリウム見学も行います。



地層の観察実習

マラソン記録会

(2月)

体育の授業の一環で、1・2年生のマラソン記録会を行います。男子9km、女子7kmのコースを駆け抜けます。各々自己ベストを目指します。



「こどもの国」での記録会の様子

<部活動>勉強と部活を両立させるには、レポートなどの課題にコツコツと取り組むこと。関東大会やインターハイに勝ち進むクラブもある。



男子バスケットボール部



ホッケー部(女子)



音楽部



囲碁部

<SSH/SGH-A>探究活動に加え、異種教科の連携した「特講科学の方法」や Intelligent Café という生徒が知的な議論の行なえる空間の運営が柱になっている。

「特講 科学の方法」

複雑化する現代社会を生きていく生徒たちは、教科の枠を超えた、総合的な学力・能力を身につけていく必要があります。そこで本校では「科学の方法」と銘打ち、異種教科が連携してチーム・ティーチング方式の授業を開発しています。たとえば、地学+公民による「リスク社会と防災」の授業や、日本史+地学による「富士山宝永大噴火—噴火の実相と復興の過程—」、生物+公民+英語による「生命倫理」など、挑戦的な取り組みが続いています。



公民+地学「リスク社会と防災」



東北スタディツアー—東北島半ランティア



In-café 運営説明

Intelligent Café

Intelligent Café (In-café) とは、知的な議論が自由に行える場、生徒の柔軟な発想や活動を支援する場です。東北の災害復興に関心意識を持つ生徒を中心に討論会やスタディツアーの企画が立ち上がったたり、教員や生徒や専門家が座談会を開き、議論に華を咲かせたり、様々な人と知識が出会う場です。In-café の運営自体も生徒たちが行っています。

探究活動

日頃の研究成果を、校外での発表会、学会での発表で発表するとともに、3月には校内コンテストを実施しています。また、放課後や休日に、校内、校外で研究者による特別授業を実施し、生徒の知的な好奇心を満たす場を提供しています。これまでに、ノーベル医学・生理学賞受賞者である Richard John Roberts 博士による「Why I love bacteria」といった世界的な研究者による特別授業も実施しています。



Richard 博士「Why I Love Bacteria」

海外での活動

本校では東南アジアに軸足を置いて、海外との交流を行っています。本校と関係の深いタイ王国とは、Princess Chulabhorn's College Chiang Rai (PCCCR) との研究交流を、相互に訪問して実施しています。この他にも、NICE (国際的な化学教育の学会) に参加し、英語での研究発表を行っています。



PCCCR とのポスターセッションの様子

東京学芸大学附属高等学校 SSH ウェブページ <http://www.gakugei-hs.info/~sule/>

<キャリア>様々な方面で活躍する社会人や大学生の OB・OG による進路講演会が毎年実施される。定期的な講演以外にも、Intelligent Café を使ったユニークな講演会もある。

進路講演会

生徒個々のキャリア育成のために、様々な形式で進路講演会を実施しています。各方面にて活躍している社会人や大学生の OB・OG に講演していただくことで、年齢や立場の異なる人との出会いを数多く設定しています。



大学生 OG による進路講演



社会人 OB による進路講演

主な進学先 (過去 12 年の進学者数順)

東京大学	慶応義塾大学	早稲田大学
一橋大学	東京工業大学	千葉大学
京都大学	筑波大学	上智大学
横浜国立大学	東京理科大学	東京学芸大学
中央大学	東京農工大学	明治大学
北海道大学	東京医科歯科大学	東京外国語大学
お茶の水女子大学	横浜市立大学	他



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Sensei High School

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5
TEL 03-3421-5151 FAX 03-3421-5152
<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/>

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

ご覧いただいたように古いものから、新しいものまで、様々な教育活動が行われ、社会の変化に関係なく、どこでも活躍出来る卒業生を輩出し、教育界や社会に貢献できればと思っています。